

多くが認めた南薫造  
安浦の画家



南薫造とは

南薫造とは、この安浦町に生まれた画家です。

この人は、画家を目指すためヨーロッパに留学するなど努力し、たくさん賞をいただきました。努力は多くの人に認められたのです。

好きな風景

南さんは、瀬戸内の風景をよくかいていました。海や、みかんの実る風景が大好きだったそうです。

南薫造



瀬戸内風景

海や、みかんの実る風景が大好きだったそうです。

西行法師 安浦とのつながり

● 安浦とのつながり  
厳島に参ることになった西行さん。旅の途中、潮・風待ちのため、安浦の「たかのみ」の浦に立ちよりました。

● 西行庵の場所  
安三浦「グリーンロード」アセットの奥、ボールからさらに入った所

● 西行塔（安浦で）  
毎年秋に安三浦の児童・生徒が俳句や短歌をおうほします。



西行木像

安浦、子が送る安浦の祭り

安浦にはたくさんの神社があります。その中で3つの神社をしょうかいします。



神山神社の祭り

鬼、櫓伝馬船、随兵、神こし、はやし、やくら太鼓 があり、子供主体となりながらも海陸で行われる賑やかな祭りとして保存され続けられています。櫓伝馬上では、「ホーホーエンヤ、ホーランエーヨイサーノサッサイ」とはやしながら酒樽の上でおどっている姿が見られます。



柏島神社の祭り

宮島や大三島などと並び瀬戸内三大管弦祭の一つです。柏島へは、船で島へ行きます。みこしをせた「御座船」という船もあります。祭りには、四国・九州など遠方から来る人もいます。



亀山神社の祭り

内海タント節に「幟り祭りの八幡様は森に、椎の木大一位」とうたわれるように、昔は神こしの行列には、弓、金鉄包、薙刀、つづみ太鼓、し、鬼などとともにお幟りが内海、三津口などから20本30本と出され幟り祭りと言われていたそうです。しかし、電線が張られるようになると幟りは行列からはずされました。また、お旅所（浜の宮）では随兵が馬上からの的を射るやぶさめが行われていました。今は子供が中心の祭りになっています。

安浦塩田の大黒柱  
木村仁平

昔の安浦のぶすは今とちがい、深い海だ。たのび平らな土地はあまりありませんでした。

新聞は江戸時代に三津口でつくられたが、間もなく提防が決壊し、周辺の町の人々が必死に復旧作業が行われていきました。

そこへ、大正7年に香川県屋島町から塩田開発の第一人者である「木村仁平」氏が実成新聞を受け継ぎ、いろいろ困難を克服していきました。そして木村仁平が実成新聞を蒸気利用式に改造して

実成塩田の製塩の基石礎を確立していき、実成塩田をすばらしい製塩の土地たしていききました。

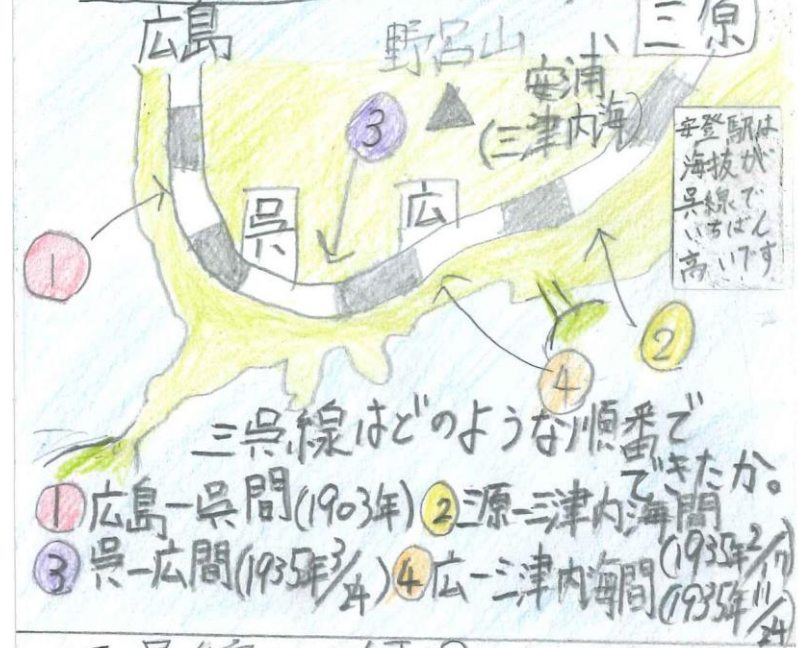


木村仁平像

※番号は新聞地です  
⑤が実成新聞です

呉といちばん海面に近い駅安浦駅

呉(三呉)線の図



三呉線って何？

三呉線とは、三原から呉をつなぐ線路という意味です。今でいう呉線の三原-呉間が昔は三呉線と呼ばれていました。

馬尺名の由来  
安浦駅は昔、三津内海駅と呼ばれていました。その馬尺名はどのように決まったのでしょうか。

一方の主張  
馬舎は三津口側にあるから三津口馬尺にするべき。

もう一方の主張  
三津駅(安芸津馬尺)の次に三津口馬尺を置くのはまぎらわしい。乗りまちが増える。

しかし、結局二つ合わせた「三津内海馬尺」に1935年になりました。そして、1年後の1946年に「安浦馬尺」と改名されました。

発見!

# 安浦の歴史

## 移り変わりのひみつ

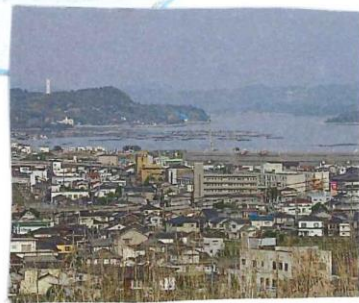
町村名	合併	町村名
内海村	1819	三津口村
赤向坂村	1899	野路村
下垣村	1896	中切村
原野村	1992	内海村
野路村	1929	三津口村
野路村	1942	安浦町
安浦町	1944	豊田郡
安浦町	1956	安浦町
安浦町	1958	安浦町
安浦町	2004	安浦町

## 安浦の名の由来

安浦は「浦安がれ」という言葉がつけられました。「浦安がれ」というのは海の入江がおだやかなという意味です。



カキマ王子



## 昔をつたえる歌



内海さんと節は全部で12個あります。その中で1つ紹介します。  
望郷 (今は安浦です)  
思ひ出しては 野呂山眺め 恋し内海 あのにや  
ていれど 白魚 あおさのり ふながら こいから たんと たんと

## まちしるべの方

「まちしるべ」とは、残る歴史や伝説、伝承を刻み石碑を「まちしるべ」と名付け、永くこの石碑が地名の由来等を語り継いでくれると信じて建立された物です。

くまちしるべに書いてあること



正面...地名の読み 左面...歴史・伝承・伝説等 後面...建設計と建設計者名

## 安浦にいるめずらしいもの

ハクセンシオマネキ



ハクセンシオマネキは片方のハサミが大きいカニです。\*とらないでね!

リュウノヒゲモ



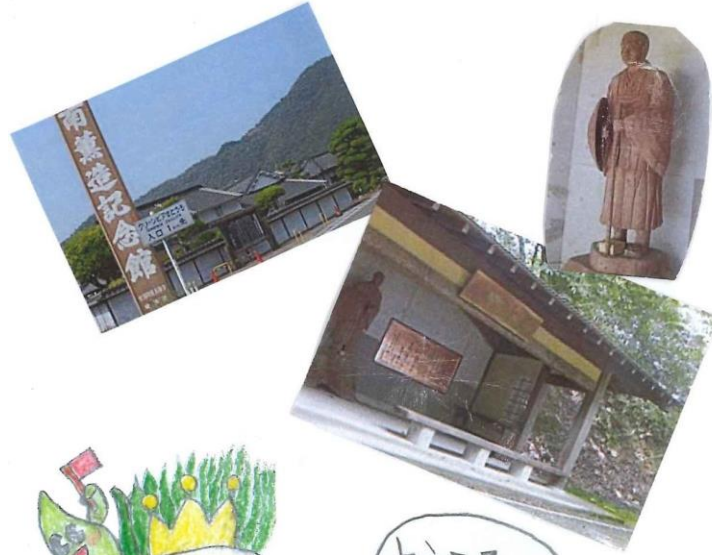
リュウノヒゲモは、ほそながくて、かみの毛のようにほそいです。

くわしくは [安浦小HP](#)へ!!

# 発見!安浦の宝



## 今につながる安浦の昔



ようこそ 鬼カキマ王子 安浦へ!



呉市立安浦小学校6年

# コンクリート船 武智丸

◎コンクリート船が動いていた?  
日本が戦争をしていたころ、材料がないのに、どうしても舟台が必要だったため、急ぎょコンクリートで船が造られました。その船の名前は武智丸とつけられ、荷物運びとして活やくしました。その後は、防波堤として活やくしました。



◎武智丸の名前の由来は?  
武智丸は、造られた場所が兵庫県の武智造船所だったため、武智丸といふ前になりました。

◎「水の守り神 武智丸」  
武智丸は、防波堤としても活やくしたため「水の守り神」とも言われました。

◎なぜ防波堤になったの?  
1945年9月に日本を丸崎台風という台風がおそいました。安浦も大きな被害を受けました。当時の漁業組合長さんが堤防をつくることを計画しましたがうまくいかず、戦後、活やくの場がなくなっていた武智丸を使うことになったのです。